

令和7年度 自作教材教具集



瀬谷支援学校

教育支援チーム

目次

1 操作の学習

太田 stage II

- クリップ引っ張り P3
- ポンでカップ P4

太田 stage III-1

- バンダナ結び2色 P5

太田 stage III-2

- 紐結び P6

2 認知

太田 stage I

- 汽車と線路 P7

太田 stage II

- 雨模様ボード P8

太田 stage III-1

- 絵カード順番合わせ P9
- 蓋の開閉とマッチング P10
- 体を拭く練習 P11

太田 stage III-2

- マス目付きホワイトボード P12

太田 stage IV

- 気温に適した衣服の選択 P13

3 コミュニケーション

太田 stage II

- 2語文構成教材 P14

太田 stage III-2

- クレープ屋さんごっこ P15

4 授業

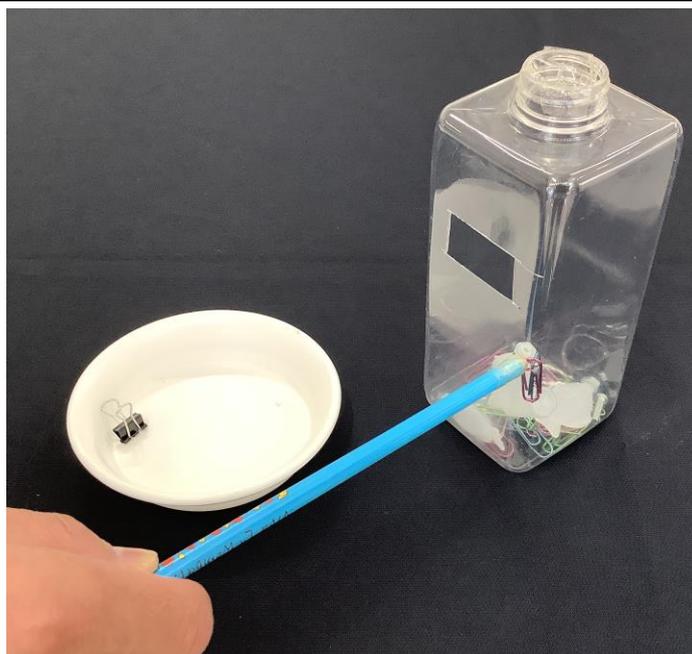
- リズムうちわ P16
- ずこう(スライド) P17
- 音声ペン P18
- 東京スカイツリーモニュメント P19
- お米パズル P20
- 大コロコロアート段ボール P21
- 歯みがき指導・歯科検診 P22
- 小銭計算 P23
- フィールドワーク P24
- ベンハムのコマ P25
- 神奈川県市町村カード P26
- 砂糖の取り過ぎについて考えよう P27
- 水時計 P28
- 図工手順書 P29
- 自分のマーク作り P30
- 実習学部合同報告会(スライド) P31

5 その他

- 時計のパズル P32
- 起き上がりこぼし P33
- ボールペンの数数え P34
- ストロー通し P35

教材用具名	クリップ引っ張り	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	自立活動	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応性の向上 ・一定時間一人で取り組む(自立課題) ・手指の巧緻性 				

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ①鉛筆の先端に強力磁石を使用し、箱の外に引っ張り出す ②鉛筆の先端に付いた、クリップ等を取り、受け皿に入れる
材料	・鉛筆、強力磁石、クリップ等の磁石にくっつく物、箱
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・強力磁石を使用している ・受け皿を用意し、入れる場所を明確にしている ・子どもの実態に応じて、個数を調整できる

使ってみてよかったところ、効果等

- ・磁石に物がくっつく感じが子どもにわかりやすい
- ・個数が目で見て分かるので、見通しを持たせやすい
- ・両手を使用するので、手指の巧緻性が高められる
- ・子どもの実態に応じて、箱の中の教材を変えられる(好きな物や興味のある物にできる)
- ・始点と終点がわかりやすい

教材用具名	「ポンでカップ」	分類		Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	操作		
			自立活動	体育	余暇	
				高等部		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目標物に向かってピンポン玉を投げることができる。 ・ルールのあるゲームを理解して主体的に参加できる ・他者の投球を応援することができる 					

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンポン球を器具に向かって投げてカップに入れる ・器具との距離、配置、配点など対象に合わせて決めてから行う
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、プラカップ、ピンポン玉
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・カップの土台の配置を自由に変えることができる ・カップの大きさも変更可

使ってみてよかったところ、効果等

- ・1回で投げ入れることが難しい子どもでも、ワンバウンドさせて狙うことができる

教材用具名	バンダナ結び(2色)	分類	Stage III-1		
		対象授業等	(内容) (学部)	日常生活	操作
ねらい	・バンダナを結ぶことができる				
				小学部	

教材用具の概要



使用方法	・同じ色のバンダナの端を持ち、結ぶ
材料	・100円均一で手に入れたバンダナ2つを縫い合わせた
工夫点	・実践する時は、もう1つ用意し、子どもと向かい合って手本を見せて取り組んだ

使ってみてよかったところ、効果等

- ・色の名前が分かる子どもには、色の名前を伝えることで持ってもらうことができた
- ・個別教育計画に反映させることができたので、後期は着替えの風呂敷結びに移行しようと考えている

教材用具名	紐結び	分類	Stage III-2		
		対象授業等	(内容) (学部)	自立活動	個別課題
ねらい	・紐を結ぶことができる				
			操作 中学部		

教材用具の概要



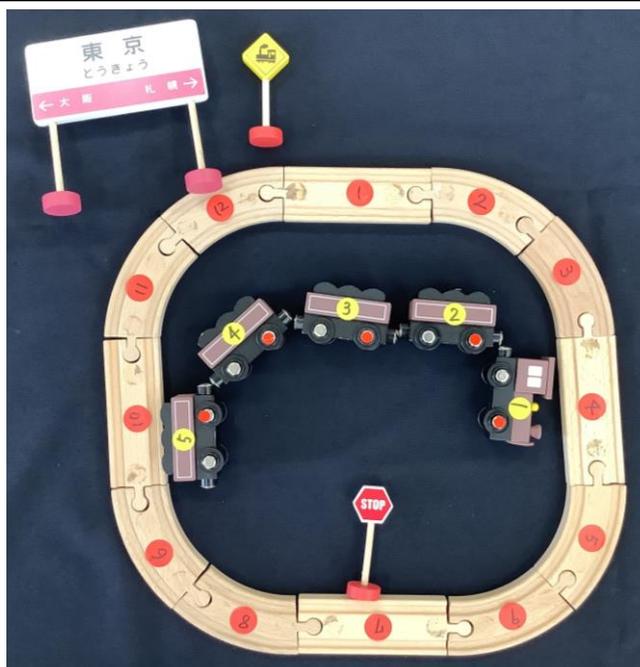
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・紐結びの練習をする ・左右の紐の色が違う物から練習を始めて、結び方を覚えたら紐の色が同じものに挑戦する
材料	空き箱、毛糸、画用紙
工夫点	・空き箱に黒の画用紙を貼り、紐の動きが分かりやすいよう工夫した

使ってみてよかったところ、効果等

- ・毎日の着替えに加えて、個別課題で取り組むことによって蝶結びができるようになった
- ・紐の色が違うことで手順の説明がしやすい

教材用具名	自動車と線路	分類	Stage I		
		対象授業等	(内容) (学部)	個別課題	
ねらい	・1から10までの車両を正しい順番で連結することができる ・1から12までの線路を正しい順番で連結することができる				

教材用具の概要



使用方法	・自動車と線路をそれぞれ正しい順番で連結する
材料	・市販の自動車、線路 ・シール
工夫点	・本教材の対象の子どもが強い関心を持つ自動車と線路を教材とすることで、意欲的に数字の学習に取り組めるようにした

使ってみてよかったところ、効果等	
・子どもが本教材に強い関心を持っていたため、繰り返し意欲的に課題に取り組むことができ、数字の正しい順番を理解できるようになった	

教材用具名	雨模様ボード	分類		Stage		
		対象授業等	(内容) (学部)	図工		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・上からスポイトで色水を垂らすことができる ・出来上がった模様注目することができる 					

教材用具の概要



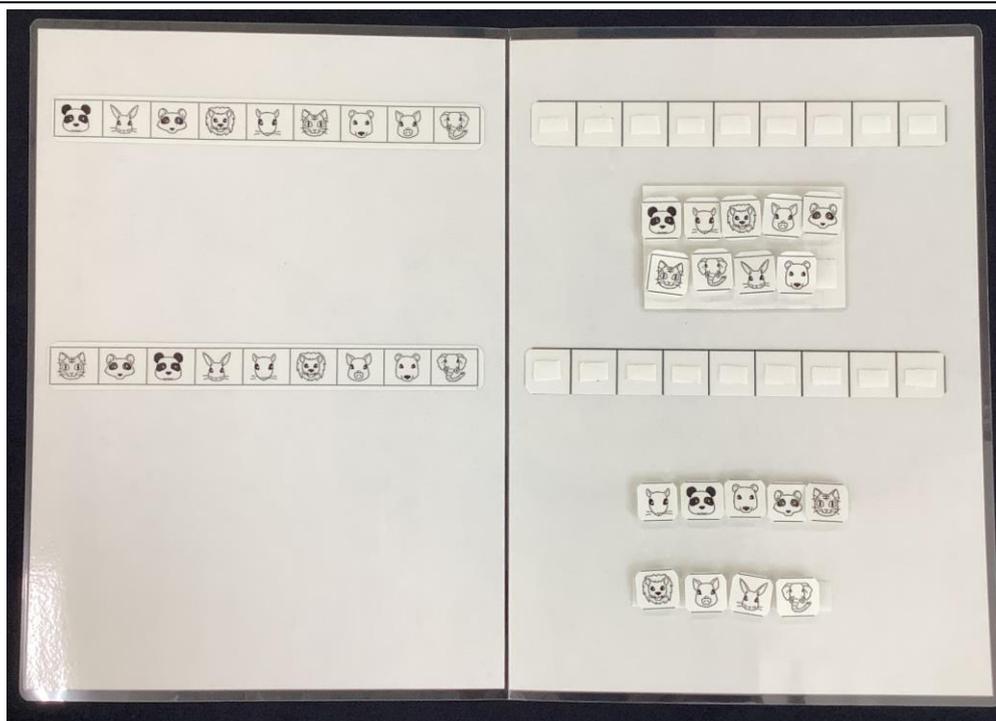
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下にペーパータオルが入ったトレーを置き、ボードを立てて使用する ・上からスポイトで色水を垂らす
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・バインダー(A4サイズ) ・ブックスタンド ・養生テープ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・教員や子どもがバインダーを手で支えずに、スポイトで色水を垂らすことができる ・制作の様子やできた作品に注目しやすい ・垂れた色水がトレーの中のペーパータオルに沁み込むので、片付けが簡単

使ってみてよかったところ、効果等

- ・バインダーを支えずにできるので、一人でできる子どもが多かった
- ・色水がゆっくり垂れて下に落ちていく様子に注目する子どもが多かった
- ・教員の準備や片付けが短時間で済んだ

教材用具名	絵カード順番合わせ	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	自立活動	認知
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報を手がかりにして、同じ順番に並べる力を育てる ・注視力、比較力の向上 ・構成課題の基礎としての力を育てる 				

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・左ページに並んでいるお手本の動物イラストカードを提示する ・子どもは右ページの両面ファスナー付きの場所に、見本と同じ順番でカードを並べる ・終わったら一緒に確認し、フィードバックを行う
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネートした台紙(A3) ・動物のイラストカード ・両面ファスナー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・両面ファスナーで操作しやすく、修正もしやすいようにした ・識別がしやすいように特徴的な形の動物を使用し、またカードを白黒にして視認性を高くした

使ってみてよかったところ、効果等

- ・情報量を最小限に抑えたため子どもにとって比較がしやすく、視点の迷いも少なかった
- ・確認時も正誤が一目で分かりやすく、やり取りがスムーズに行えた

教材用具名	蓋の開閉とマッチング	分類	Stage I		
		対象授業等	(内容) (学部)	個別課題	認知
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ柄の蓋と容器をマッチングする ・蓋を閉めたり開けたりすることができる 				

教材用具の概要



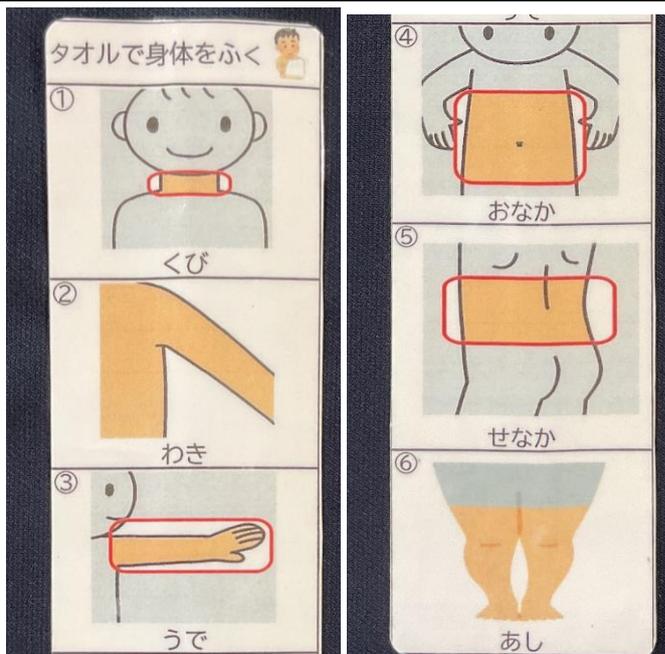
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧クリーム蓋と容器をバラバラにし、箱に入れておく ・化粧クリームの蓋と容器に貼ったイラストをマッチングしながら、蓋と容器を閉めていく ・また、同じイラストを貼った12マス容器に閉まっていく ・「～とって」と教員が伝えてそのイラストの容器をとってもらう
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・12マス容器 ・化粧クリームの容器 ・動物や乗り物、食べ物などのイラストシール
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの好きなイラストを活用した ・容器は大きいものから取り組み、徐々に小さくしていった

使ってみてよかったところ、効果等

- ・興味のあるイラストを使用することで、意欲的に取り組むことができた
- ・大きい容器から取り組むことで、容器の開閉に慣れ、小さな容器でも取り組むことができるようになった

教材用具名	身体を拭く練習	分類	Stage III-1 認知		
		対象授業等	(内容) (学部)	自立活動	日常生活
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の部位を理解しているか ・汗をかいたら自分の身体を順番に拭くことができる ・見通しを持ち、主体的に行動できる場面を増やす 				

教材用具の概要



使用方法	・登校後や体育、汗をかく活動後に行う
材料	・ラミネートフィルム ・ドロップス
工夫点	・身体の上部分から順番に拭けるように作成した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・少しずつ一人で身体が拭けるようになってきており、継続して練習をしている
- ・視覚優位の子どものため、視覚支援があると自立して取り組める

教材用具名	気温に適した衣服の選択	分類	Stage IV		
		対象授業等	(内容) (学部)	日常生活	個別課題
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使って天気予報を調べることができる ・気温から適切な服装を選択することができる 				

教材用具の概要



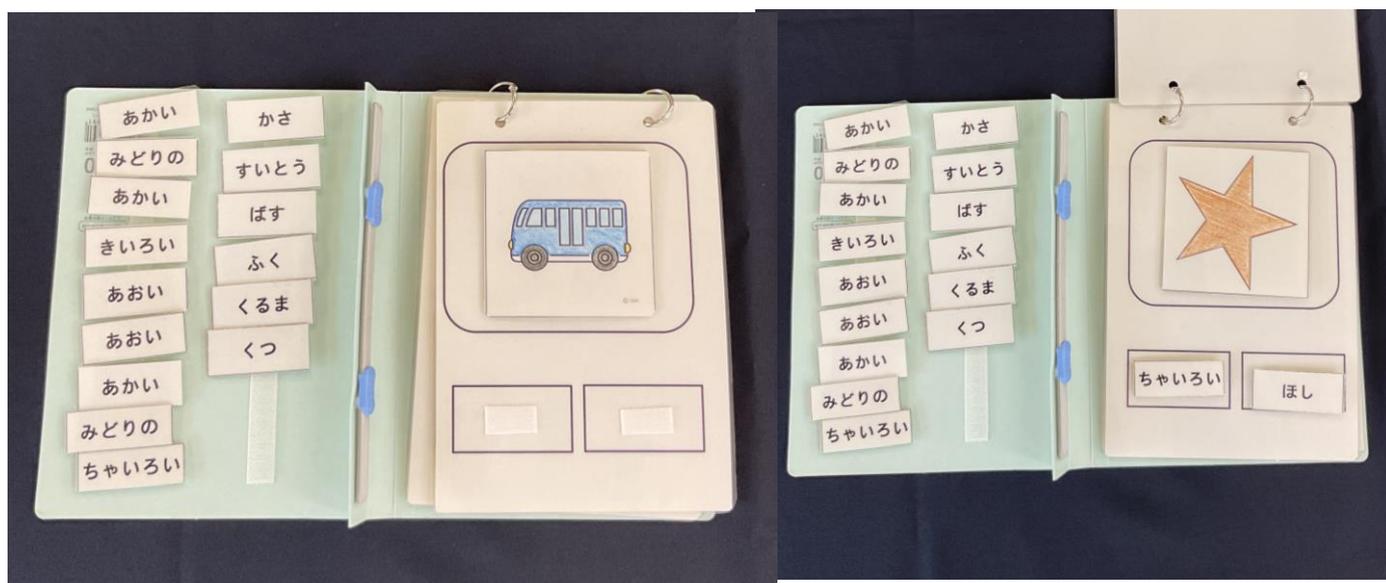
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末で調べた天気と気温を記入する ・気温・服装シートを参考に、気温に適した服装カードを貼る ・その日の適切な服装を知る
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネートフィルム ・両面ファスナー ・ホワイトボードマーカー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の適した服装ではなく、朝の最低気温と昼の最高気温を調べることで ・2点を調べることで適した服装が変わることを知ることができた

使ってみてよかったところ、効果等

- ・事前に気温や天気を知ることによって、当日の服装や傘などの持ち物を前もって準備したり意識したりできた

教材用具名	2 語文構成教材	分類	Stage II コミュニケーション	
		対象授業等	(内容) (学部)	個別課題 小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞と色を結び付けることができる ・言葉で表現する力を養う 			

教材用具の概要



使用方法	・教材ファイルの左側にある「色カード」と「名詞カード」を右側に貼られたイラストカードに合わせて、右側教材下部分の枠に貼りつける
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・文字データ ・ラミネート ・両面ファスナー ・ファイル
工夫点	・「名詞カード」に使用するイラストを、子どもの身近なものを中心にしている

使ってみてよかったところ、効果等

- ・色の理解や名詞の理解につながってよかった
- ・文字カードを並べることで、言葉で表現することができるようになってきた

教材用具名	クレープ屋さんごっこ	分類	Stage Ⅲ-2 コミュニケーション	
		対象授業等	(内容) (学部)	個別課題 小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と正しいやりとりをする ・表を読み取る力をつける 			

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員がお客さん役の教員の名前をホワイトボードに書く ・子どもが「ご注文をどうぞ」と書かれたボードを手掛かりにしてお客さん役の教員に伝える ・注文を取ったらメニュー表を見ながらつくり、出来たものをお皿に載せて「どうぞ」と言いながら渡す
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード ・マーカー ・フェルト ・子どもの顔写真
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの好きな食べ物を取り入れた ・正しい言葉でやり取りができるように視覚支援を使用しながら取り組んだ

使ってみてよかったところ、効果等

・「どうぞ」「ありがとう」など正しい言葉のやり取りを練習したことで、日常生活でも正しいやり取りができるようになってきた

教材用具名	リズムうちわ	分類	Stage I		
		対象授業等	(内容) (学部)	音楽	
ねらい	・授業で子どもに手を叩くタイミングを伝える				
			授業		
			小学部		

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏前に「お休み」の面を見せ、手を胸の前にあてさせる ・演奏が始まったら、叩くタイミングに合わせてうちわを返して「ぱんぱん」を見せる
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・うちわ ・A4 サイズの印刷紙
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・遠くの子どもでも見やすいように、大きく印刷した

使ってみてよかったところ、効果等

- ・授業のたびに繰り返し用いることで、子どもの目線が集まるようになった
- ・叩くタイミングを視覚的に伝えることができるため、正しいタイミングで叩ける子どもが増えてきた

教材用具名	図工	分類		Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	図工		
			授業			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を知る ・視覚的支援で見通しを持って活動できる ・手本の動画を観て、一人で取り組むことができる 					

教材用具の概要

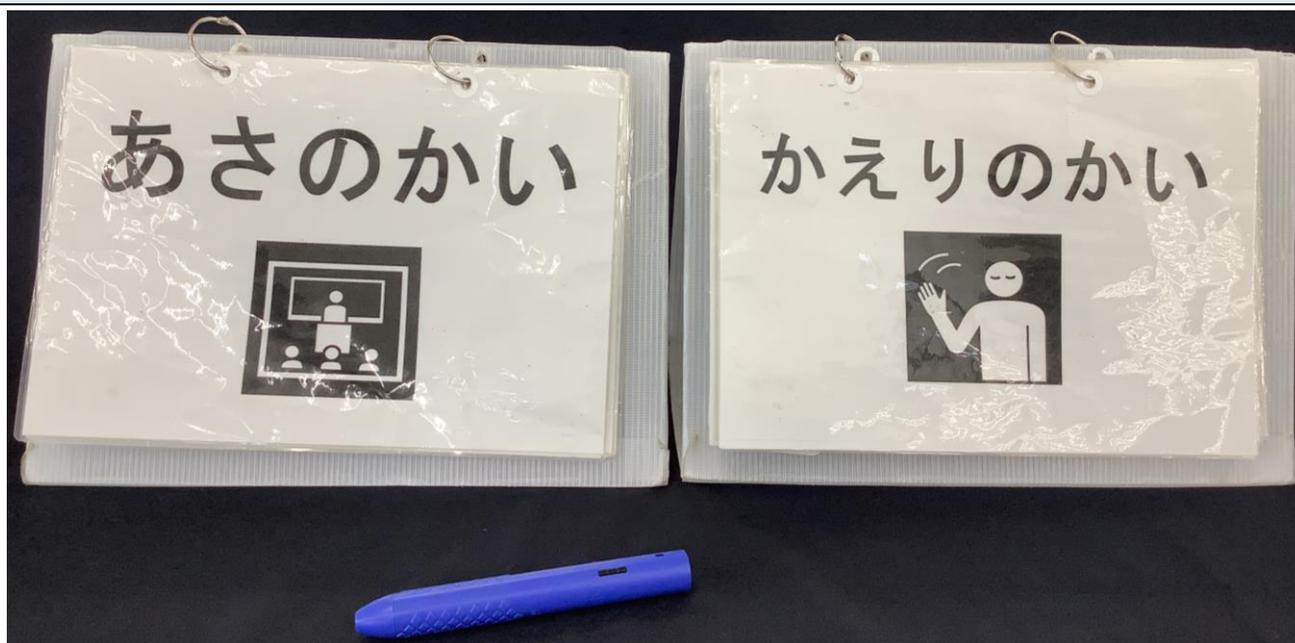
使用方法	・タブレット端末とテレビを使い、画面を大きくして複数の子どもに見やすくしている
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・童謡音源 ・作業の様子の写真、動画
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・単元と関連している童謡を聴いて、イメージを持たせる ・複数個所で活動する際、図工担当の教員間で共有できるようにしている。 ・動画を撮ることで、授業前に MT や ST との活動内容を確認している

使ってみてよかったところ、効果等

<ul style="list-style-type: none"> ・導入部分で子どもたちに授業内容を視覚的に提示することで、やることがわかり自主的に進められる子どもがいる ・動画にすることで、担当以外の教員にも活動内容を把握してもらうことができる

教材用具名	音声ペン (朝の会、帰りの会)	分類	Stage I		
		対象授業等	(内容) (学部)	ホーム ルーム	授業
ねらい	・発語の無い子どもでもペンを使用することで司会進行を進めることができる				

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・めくりには貼られているシールを音声ペンの先で押す ・押すとシールに録音された音声再生される
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・音声ペン ・シール
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

使ってみてよかったところ、効果等	
<ul style="list-style-type: none"> ・やり方を覚えると、どの子どもでも一人でペンを持ち、発信することができた 	

教材用具名	東京スカイツリーのモニュメント	分類	Stage I II		
		対象授業等 (内容) (学部)	授業	総合	社会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行に向け意識付けをする ・事前学習や関連教科の授業の中で、思い出作りのツールとする 				

教材用具の概要



使用方法	・修学旅行に向け、運動会の学年種目、事前学習(総合)、各教科(社会、家庭)で使用する
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用シート ・アルミ箔 ・色画用紙 ・仕切り版 ・コーン
工夫点	・大小の鍋型のアルミ箔で展望台を作った。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・運動会の学年種目で使用した東京スカイツリーがある場所に”修学旅行で行く”ということが少しずつイメージできている子どもがいる
- ・視覚優位の子どもが多いので見ることで意識付けができる

教材用具名	お米パズル	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	授業	家庭
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・米の構造について理解する ・米の栄養素について理解する 				

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の『米』の授業で使用した。 ① マグネット付きの胚乳や胚芽などを形に合わせて貼る ② 米の栄養素を色や形をヒントに型はめをする
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール ・磁石 ・ガムテープ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・磁石の凸凹をなくすため、段ボールの中に磁石を埋め込んだ ・1つの型で2つの学習(米の構造と米の栄養素)ができるようにした

使ってみてよかったところ、効果等

- ・形を合わせてピッタリとはめられるので、手元を見てすめられた
- ・複数の型をみんなで力を合わせて完成させることで、達成感を感じることができた
- ・理解の難しい子どもでも形を合わせたり、マグネットを貼ったりする活動には参加できるので、みんなで授業を進められた

教材用具名	大コロコロアート段ボール	分類		Stage II		
		対象授業等	(内容)	美術		
	(学部)		高等部			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人と協力しながら大きな美術作品を作る ・動きのある作品作りを楽しむことができる ・ボールなどの動線で作られる偶然の模様を楽しむことができる 					

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙などを段ボール内に敷く ・絵の具を付けたボール(テニスボールがおすすめ)やビー玉などを紙の上に置き、複数人で持って傾け、転がして模様を作る 					
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール ・透明テープ ・模造紙 ・ボール ・絵の具 					
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・壊れにくくするために、段ボールは丈夫なものを使用(スイカの段ボールで作成) ・持ち手を透明テープで補強し、破れにくくした 					

使ってみてよかったところ、効果等

- ・微細な動作が苦手な子どもや、絵を描くのが苦手な子どもも作品作りに取り組むことができた
- ・みんなでワイワイ楽しみながら作品を作ることができた
- ・大きいボールを途中で追加するなど変化を加えることで、授業に緩急ができた

教材用具名	歯磨きしよう！ ～👁️みえーる見えるの不思議なメガネ～	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	授業	日常生活
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きの手順を知る ・歯の汚れに気がつき、歯磨きをする気持ちを育む 				

教材用具の概要



使用方法	・透明シートの下にメガネを入れると歯が白く汚れや磨き残しが見えやすくなる(透明シート表側に水性ペンで汚れをかいておく)
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨き練習シート(大・小) ・メラニン歯ブラシ ・みえーる見える不思議なめがね ・歯磨き手順書(一覧表・縦手順表・めくり手順表)
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に合わせて、手順書を 3 種類にしている ・“みえーる見えるの不思議なメガネ”不思議さと面白さで歯磨き指導に興味を誘う

使ってみてよかったところ、効果等

- ・歯にはパツと見ただけでは気づかない汚れがいっぱいあるよ！！
- ・「この不思議なメガネは見えない汚れが見える不思議なメガネ」

教材用具名	小銭計算	分類	Stage V		
		対象授業等	(内容)	算数	
			(学部)		高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・小銭の種類を知る ・小銭の計算方法を知り、正答できる 				

教材用具の概要

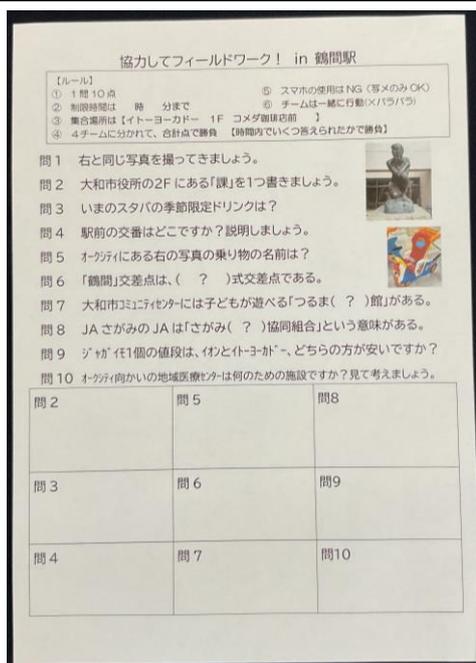
	
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題作成」ボタンを押下 ・表示された小銭を計算し、「答え合わせ」ボタンを押下 ・答えを入力
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセル ・VBA
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題作成」ボタンを押下したあと、小銭の「種類」「数」を完全ランダム表示させるようにした ・計算しやすいよう、子ども自身で小銭を動かせるようにして、整理できるようにした

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ゲーム感覚で取り組める
- ・解けなかった場合でも、答えを見てから合計金額の確認ができた
- ・小銭の整理整頓する力を養うことができた
- ・表示される小銭が完全ランダムなので、パターン化にならない

教材用具名	フィールドワーク ～協力して、街のクイズを解こう～	分類	Stage V		
		対象授業等	(内容) (学部)	総合	自立活動
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで協力して問題に取り組む ・身近ではない街のクイズを通して、街の社会的機能や公共施設を学ぶ ・時間やルートなどの見通しを自分で立てる 				

教材用具の概要



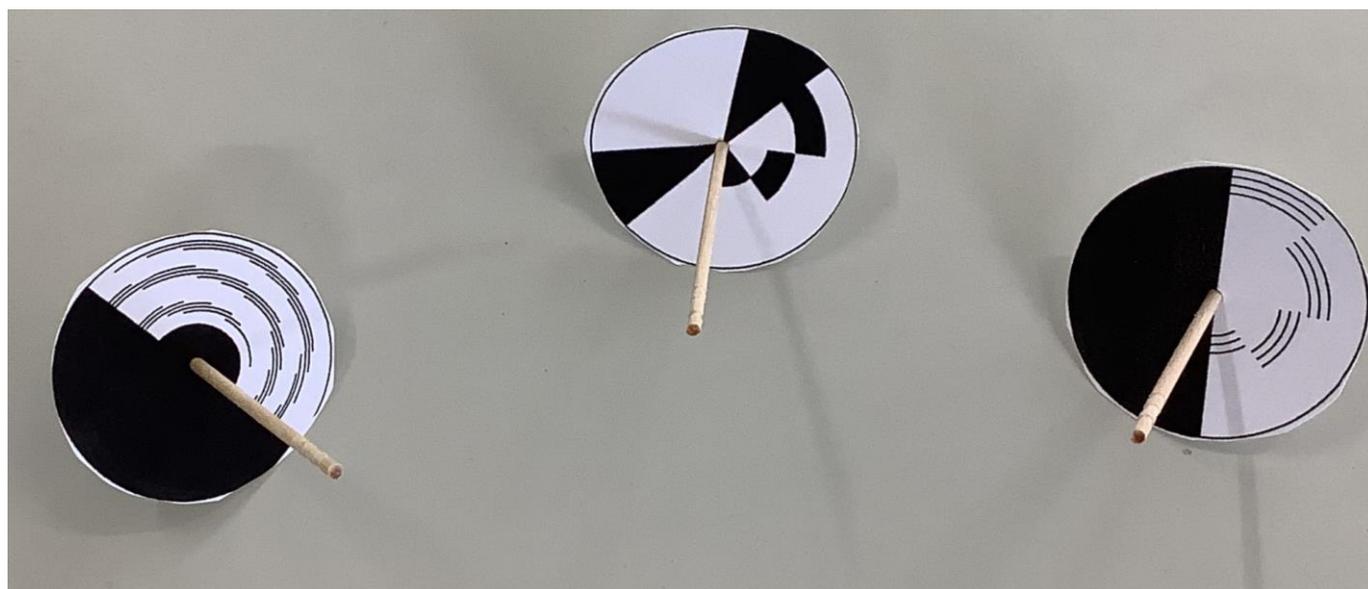
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアを作り、実際に街(授業では鶴間駅周辺)を歩いてクイズに取り組ませる ・事前に制限時間やルール、集合場所などの確認をしておく ・解答後は全員で答え合わせをし、正答率や子どもの疑問に応じて解説をしたり、実際に足を運んで確認したりする
材料	・プリント
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に自立を目指す子どもたちが、普段目を向けられない街の施設などについて学習できるようにした ・解説の際には、社会生活と関連付けて説明するようにした

使ってみてよかったところ、効果等

<ul style="list-style-type: none"> ・校外での活動ということだけで、子どもは積極的に活動することができていた ・基本的には一問一答のクイズにしたため、説明が苦手な生徒も参加できた。 ・説明問題をいくつか加えたことで、見たものをよりわかりやすく言語化する力も養えた(子どもの説明のわかりやすさで点数配分した) ・ペアはくじで決めたため、普段はあまり関わらない相手とも協力せざるを得ない状況ができ、人間関係やコミュニケーションの幅が広がった

教材用具名	ベンハムのコマ	分類	Stage V		
		対象授業等 (内容) (学部)	授業	理科	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・回転したコマの模様を予想する活動を通して、見通す力をはぐくませる ・色が変わることを通じて、科学的な現象に興味、関心をもつ 				

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・コマと同じ模様をワークシートで提示して、予想を立てさせる ・個人に模様を書いたシートを渡し、穴あけ以外の作業(裁断、楊枝通し、テープ止め)を行わせる ・出来上がったコマを実際に回転させ、その様子を観察させる
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・厚紙 ・つまようじ ・セロハンテープ ・ワークシート
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・「きっと模様が変わるだろう」と予想した子どもが、色の変化に出会う点 ・予想を裏切る意外性の面白さ

使ってみてよかったところ、効果等

- ・「予想する→実際に動かす→確かめる→振り返る」という 50 分の授業時間の中で、子どもが主体的に活動することができた
- ・この活動量が「多い」と感じた子どももおり途中で飽きてしまった子どももいたため、個人で調整してもよいかもしれない
- ・色が見えることに個人差があったため、色を確認できなかった子どもが一部いた。再現性に課題あり

教材用具名	神奈川県市町村カード	分類	Stage V		
		対象授業等	(内容) (学部)	授業	社会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な神奈川県の市町村をカードで見ることで興味関心をもつ ・市町村の位置や駅の数、人口、面積を対戦方式で学ぶことで知識を深める ・将来の居住地や進路選択(就業先)で様々な市町村へ行く可能性があるため、事前に知識として知る 				

教材用具の概要



使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 神奈川県市町村カードを人数に合わせて裏向きにして配付する。対戦相手を決定する ② それぞれ手札を見て、一斉にカードをだす。そのあと対決内容を決定するカードを表向きにする ③ カードに書いてある面積、人口、駅の数や神奈川県市町村の地図を見ながら、どちらがより多いか、面積が大きいか、位置が近いかなどを確認する。勝った方はカードをもらい手札とは別の所に置く ④ ②～③を繰り返し、最終的にカードが多かった人の勝利
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・厚紙 ・神奈川県市町村のデータ、地図
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・カードや対戦方式にすることで、書くことに苦手意識のある子どもも興味関心を持って取り組むことができるようにした ・神奈川県という身近な場所を授業で取り入れることで、行ったことのある場所の話で盛り上がり、知っている場所を増やせるようにしたりした ・市町村名だけでなく面積や人口、駅の数、それぞれの市町村の位置関係を学習にいれることで、神奈川県の地理についても知識を深められるようにした

使ってみてよかったところ、効果等

- ・知っている市町村がでてくると盛り上がるなどして興味関心をひくことができた
- ・面積が広くても人口が少なかったり、駅の数がかなりの差があったりと、神奈川県の地図と見比べながら現在の神奈川県の状況を知ることができた
- ・自分の住んでいる地域以外にもたくさんの市町村があることを改めて知ることができていた

教材用具名	砂糖のとりすぎについて考えよう	分類	Stage V		
		対象授業等	(内容)	家庭	
			(学部)	高等部	
ねらい	・市販の飲み物に含まれている砂糖の量について知り、砂糖 1 日分の摂取量の目安を基に、とりすぎないようにする方法を考え、実践しようとする意欲を持つ				

教材用具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルに含有量と同等の砂糖を入れ、底に溜まった砂糖を見せて、かなりの砂糖の量が入っていること理解させる ・実際に入っている量の砂糖を水に溶かしたものを少量飲んで、味わってもらう
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙 ・500mlの空のペットボトル各種 ・上白糖
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・糖分の量を目で確かめるために子どもになじみの深い上白糖を使用した ・身近にある飲み物から考えられるように、校内の自動販売機に売られている清涼飲料水を使用した

使ってみてよかったところ、効果等

- ・普段飲んでいる清涼飲料を使用したことで子どもの興味を引くことができた
- ・また、実際の砂糖の量をペットボトルに入れたことで、砂糖の量を実感できていた
- ・ペットボトルの飲み物には砂糖以外に炭酸や酸味料が入っていたり、色、においを付けていたり、砂糖の甘さを感じにくくなっていることを理解させることができた
- ・カロリーガイドブックをみて、清涼飲料水以外の食品やお菓子に含まれる糖分についても調べていた

教材用具名	水時計	分類		Stage I		
		対象授業等	(内容) (学部)	余暇		その他
ねらい	・水が下に落ちる様子を、見たり聞いたりして楽しむ					小学部

教材用具の概要



使用方法	・上下をひっくり返して遊ぶ
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル2本(炭酸飲料のボトルだと、より丈夫に仕上がる) ・ビニールテープ ・ホース(できれば2センチほどの太さのもの) ・洗濯ノリ、ビーズ、スパンコールなど
工夫点	・児童の好みによって、ビーズやラメやスパンコールを入れたり、洗濯ノリを少量混ぜたり、食紅や絵具で色を付けたり、ボトルのサイズを変えたりしたこと

使ってみてよかったところ、効果等

- ・水道の水で水遊びをしようとする子どもの代替の遊びになった
 - ・円を描くように回すと水がトルネードのように渦を巻くので、その様子を楽しんでいる子どももいた
- 作り方:①ペットボトルに水や洗濯ノリやスパンコールなどを入れる
 ②ボトルの口の内側に、ホースを押し込む(ホースの太さが足りない場合は、テープを巻いて太くする)
 ③もう片方のボトルをかぶせてホースを押し込み、つなぎ目をテープでぐるぐる巻きにする
- ※ホースがない場合は、2つのペットボトルの蓋を接着剤でつけ、真ん中に穴を開ける方法でもよい

教材用具名	図工手順書	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容)	図工	授業
			(学部)	小学部	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・その制作をする理由を知る ・制作の手順を知る ・自主的に制作に取り組む 				

教材用具の概要



使用方法	・テレビにタブレット端末をつなげて再生する
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ ・ケーブル ・タブレット端末
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・導入に制作物やそのイベントをイメージしやすいように、テーマにあった写真や歌の動画で取り入れた ・作業時間がかかる手順は2倍速に編集した

使ってみてよかったところ、効果等

- ・授業中に実際に手本を見せるより、手本の時間を短縮することができたり、何度も見直すことができたりした
- ・手本中に失敗したり、無駄な動きがあったりしても編集ができる

教材用具名	『自分のマークづくり～文字のデザイン～』 導入資料	分類	Stage IV		
		対象授業等	(内容) (学部)	美術	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前の中で好きな一文字を選んでデザインする ・自分の表現意図に合った表現方法を選択して取り組む ・上記のねらいを達成するために「先生の名前当てクイズ」を用意し、イメージを膨らませる 				

教材用具の概要



(資料より一部抜粋)

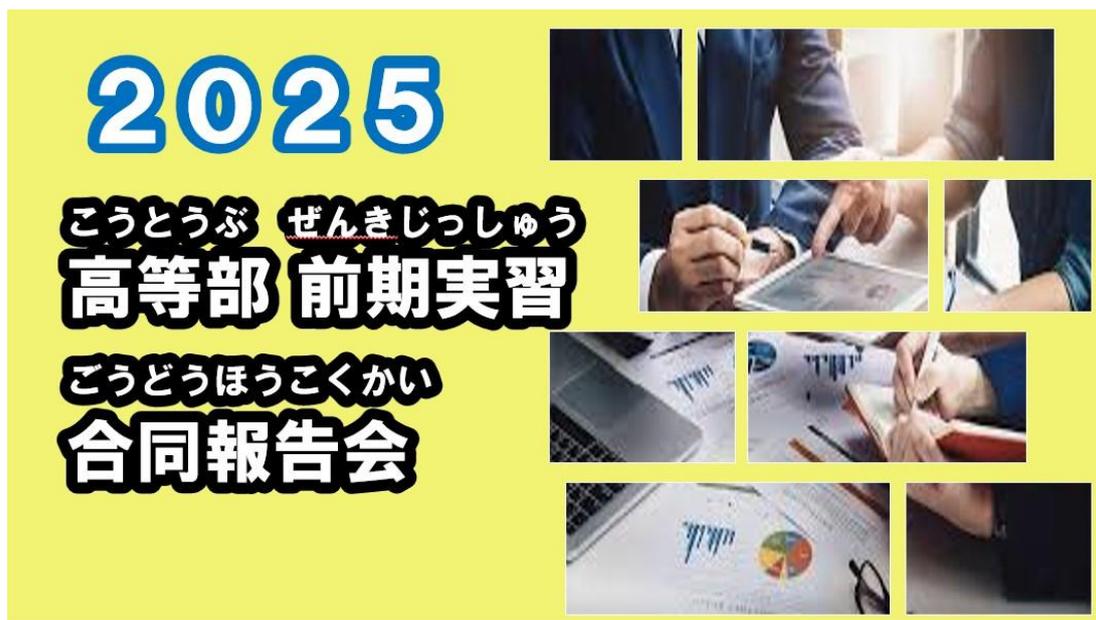
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・作品見本はホワイトボードに掲示しておく ・TVにプレゼンテーション作成アプリで資料を映し出し、1問ずつ「先生の名前当てクイズ」を出題する ・最後に、学習プリントに記入し、自分の表現方法を決める
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙 ・絵の具、マジック ・カラーテープ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって一番身近な「学年の先生」を制作見本として採用したこと ・3種類の画材を紹介し、視覚的に見て選べるようにしたこと

使ってみてよかったところ、効果等

- ・新しい先生と4月に出会い、それぞれの先生の名前とともに趣味や特技にも関心が高まってきた5月の美術の題材として「自分のマークづくり」を採用した。その導入として「先生の名前当てクイズ」を用意したことで、子ども自身が積極的に手を上げ、意欲を引き出すことができた(なんと、全問正解でした!!)
- ・授業を通して、学年全体がひとつにまとまる瞬間を味わえた
- ・表現方法について、3種類用意したが、2種類を併用する生徒も現れるなど表現の幅の広がりが見られた
- ・名前に関心を持って「自分のマーク」を制作でき、次のハンコづくり(篆刻)への繋がりも見出せた

教材用具名	実習学部合同報告会 のスライド資料	分類		Stage IV		
		対象授業等	(内容) (学部)	授業		
職業	校内実習			現場実習		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学部全体で実習を振り返り、今後の学校生活に役立てる ・先輩の実習の様子を知り、校外実習のイメージを持つ 					

教材用具の概要



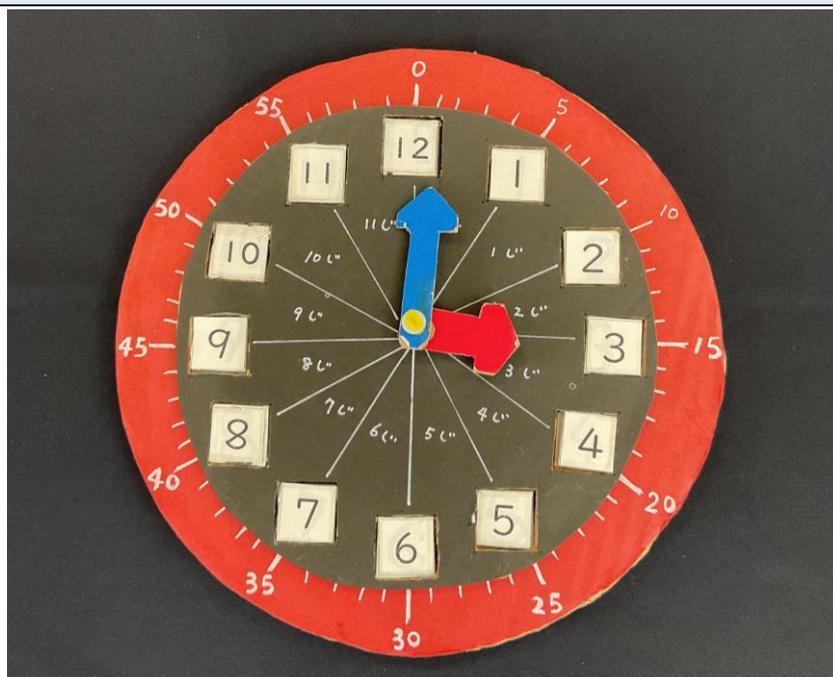
使用方法	・学部合同報告会の時に、提示する
材料	・プレゼンテーション作成アプリ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ルビを振って読みやすくした ・文字に影を入れて読みやすいようにした

使ってみてよかったところ、効果等

・見やすく、読みやすくしたことで子ども達に見通しを持たせることができた

教材用具名	時計のパズル	分類	Stage Ⅲ-1		
		対象授業等	(内容) (学部)	個別課題	認知
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ数字を正しい箇所、向きでマッチングすることができる ・時計の形と、数字の順序を覚える 				

教材用具の概要



使用方法	<p>使用方法① すべての数字をバラバラにはずしておく⇒子どもが自分ではめ込む</p> <p>使用方法② 大人が1から順に1つずつ数字を手渡す⇒子どもが自分ではめ込む</p>
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール ・画用紙 ・マグネットシート
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・「数字の順序を覚えながら、時計も一足早く学ばせたい」という保護者の要望により作成 ・その日の状況によって、自立課題として使う時は使用方法①、一対一で行う時は使用方法②と、状況に応じて使い分けができる

使ってみてよかったところ、効果等

- ・時計の形をしているからか、通常の横並びの数字マッチングよりも子どもが興味を持ちやすかった
- ・使用方法②を高頻度で行えれば、1から12までの数字を順番にはめる習慣が身に付き、時計の形と数字の順序を同時に学ぶことができる

教材用具名	起き上がりこぼし (ラグビーボール付き)	分類	Stage I		
		対象授業等 (内容) (学部)	その他	余暇	
ねらい	・刺激を得る(押す、触る、落とす)				
			高等部		

教材用具の概要



使用方法	・本体を押ししたり、ボール部分を触ったり、本体を持ち上げ落として音を出したり、くるくる回したりして遊ぶ				
材料	・バランスディスク	・カゴ	・結束バンド(固定用)	・ラグビーボール	
		・ビニール紐	・クッション材(バランスディスク下、音を小さくする)		
工夫点	・バランスディスクのままだと、落ちたときかなり大きな音がしたので、クッション材をつけた				

使ってみてよかったところ、効果等

・作成して提供したところ、上についている空気が抜けているラグビーボールも触りごごちが良い様で気に入って遊んでいた

教材用具名	「ボールペンの数かぞえ」	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	数学	自立活動
ねらい	・ボールペンを 10 本数えることができる				
			中学部		

教材用具の概要



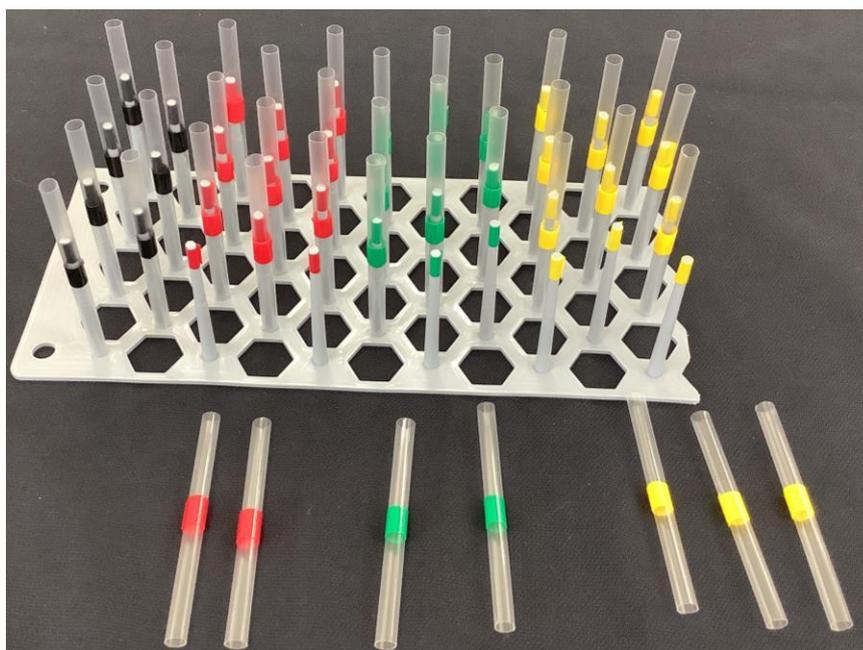
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは縦線の引いてある枠に一本ずつボールペンを置き、10 本並べる(一番左の枠) ・2つ目は、10 個の点を頼りにボールペンを 10 本置く(真ん中の枠) ・3 つ目は、10 の数字だけを頼りにボールペンを 10 本置く(一番右の枠)
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子のケース ・画用紙 ・ボールペン
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で数を数えられるようになるように、少しずつ支援を減らしていく

使ってみてよかったところ、効果等

- ・線の数だけボールペンを置くようになった
- ・10 の数字を見て、自分でボールペンを数えて箱に入れることがあった

教材用具名	ストロー通し	分類	Stage II		
		対象授業等	(内容) (学部)	個別課題	
ねらい	・手指の巧緻性の向上				
			操作 中学部		

教材用具の概要



使用方法	・土台のトゲに、トゲと同じ色のストローを通す
材料	・ストロー ・鳥よけネット ・ビニールテープ
工夫点	・透明なストローを使用することで、トゲとストローの色が一致しているか視認しやすくした ・異なる太さのストローを使用することで、子どもの実態に応じた難易度設定ができる

使ってみてよかったところ、効果等

- ・操作がシンプルでわかりやすい
- ・トゲに対しストローが大きすぎないため、手指の巧緻性を高められる